



■発信元
 緩和ケアセンター
 ■発行責任者
 院長 藤野安弘
 ■連絡先
 青森県立中央病院 緩和ケアセンター
 ☎017-726-8111(内)8568
Vol.13
 2017年3月31日発行

2016 緩和ケア満足度調査のご報告

緩和ケアセンターでは、2015年度より、がん患者と家族のQOLの質向上を目標に緩和ケアに係るアンケート調査を実施しています。また、苦痛のスクリーニングの実施に対する満足度についてアンケート調査を実施したのでご報告します。

調査期間：平成28年8月8日～12月19日

調査対象：対象診療科（外科・消化器内科・耳鼻咽喉科頭頸部外科・泌尿器科・血液内科

呼吸器内科・呼吸器外科・婦人科）に入院したがん患者178名（回収率50.3%）有効回答数：166

緩和ケアに関する患者の理解

緩和ケアの説明の有無

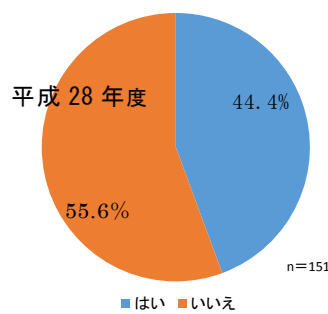
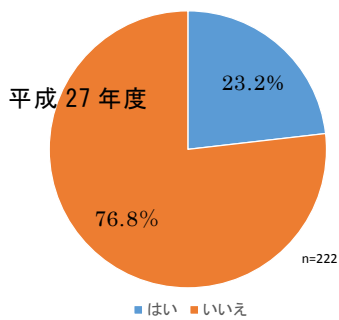


図1

今年度は、入院患者さまにパンフレットを配布して当院の緩和ケアについてご理解頂く機会を設けました。皆様のご協力で、緩和ケアの説明を受けた人が倍近く増加しています。しかし、『治療法がない』『最期の』など緩和ケアにネガティブなイメージを抱く患者様は、まだ半数近くいらっしゃいます。

医師・看護師に望む事

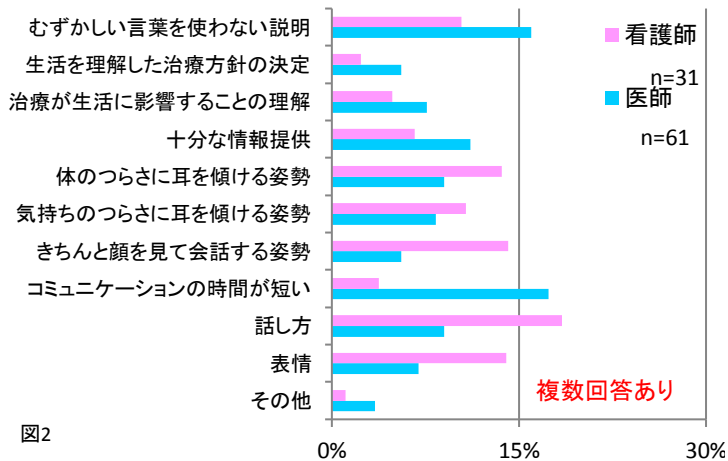


図2

看護ケアへの要望

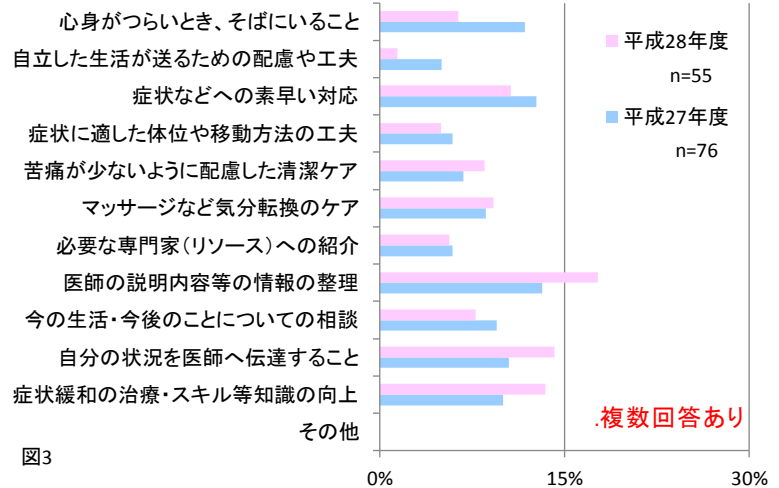
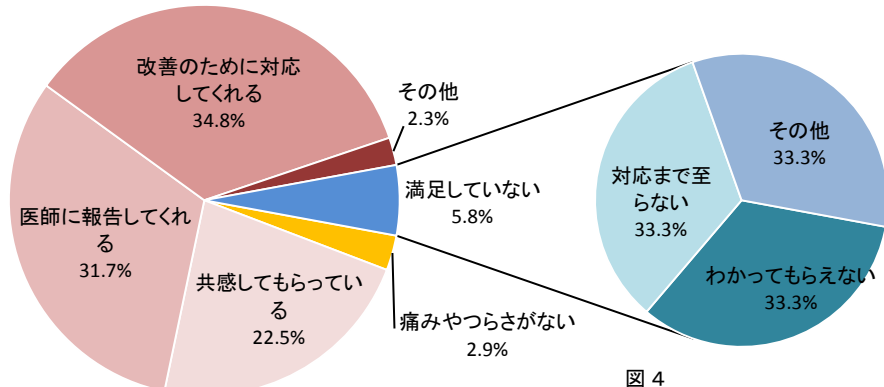


図3

看護師がスクリーニングで毎日問診することについて



スクリーニング結果への対応について、5.8%の患者が満足していないと回答していました。満足に至らなかった方の理由としては、結果への対応に至らないこと、わかってもらえないことがあがりました。看護ケアへの要望に、症状などへの素早い対応が求められていることと併せて、苦痛の抑え上げ、対応を実感できる働きかけが求められています。